

神秘十字教会

2016年 総括 9/30 創造日・誕生（再臨）

第六証 【神秘の十字・世界経済共同体主義】

牧師（神師）・伝道師 天池治彦

我が神秘の十字による教会もはや5年以上の月日が経った。5年前は、つくばの大学生であり、丁度神道とキリスト教徒出会えた不思議な縁であり、導きを与えられた月日である。

この神秘の世に我は今も毎日であるが、奉仕をし、神様と共に歩み伝道をしている。

日々、神秘の世はめまぐるしく時代が流れ、地球規模、宇宙規模においても歩みを止めていない。

2016年には、テロの国家（組織集団）が創立され、各国においてもテロという事件が起こっている。

それは、民族・宗教・文化・欲望と権力争いのテロという名を利用した悪霊の働きでもある。

国連も結局は、各国により、利益中心主義と民族主義、覇権争いによりまとまらず、シリアを見れば判るように、停戦もままならない。

アジアもある一国が暴走し、自国を守る為、権力を維持する為に核兵器開発を必死に行い、国連の制裁など無視し行動している。

国連の常任理事国の大国の一つでさえ、己の国の政権維持と民族をまとめる為に国外に力を入れ、領土拡大と軍事介入を行っている。

アメリカ合衆国は世界の警察から手をひいて、平和と自国の景気回復の為に戦争を行うのではなく、話し合いによる解決策を行ってきたが、うまくいったためしが無いのが現

実であり、その為に世界各国が勝手に利益を求め動き出しているのである。

この世の神秘においてこれからまとまる未来がEU共同体のような各民族と文化を認めない世界ではなく、我が師又吉イエス先生が伝道している世界経済共同体主義にむかって歩んでいるのが今であろうか。

その為の平和主義の憲法が世界各国で見てもこの日本国しかない。

平和憲法と日本民族の自然崇拝による神道があいまって、平和な国家を築き、世界から日本人が信頼を得、経済発展と繋がった事も事実である。

これからもこの平和憲法を維持し世界の人々に伝道して述べ伝えなければいけない。そうすることで、国連の制度も CHANGE することが可能になる。

国連の常任理事国も既に時代遅れであり、互いの利益資本主義の揉め事の源となっている。

ただ、戦争に勝ち続けたり、先進国や平等を表で述べている国が常任理事国では認められない時代となっているのである。

今の日本国は常任理事国になる為、あらゆる世界各国へ経済支援や技術を民間から国が動き活発である。

それはどうしてどのようなことが出来るかと言えば平和憲法を日本国の証として守り、行動している他にないだろう。

宗教の対立が無く、全ての自然の基に世界の各民族と共に歩めるのは、この日本国だけであると言ってもよいだろう。

平和憲法の改正は、日本国の信頼が揺らぎ、争いのある神秘の世になるであろう。

安保法案も憲法改正も大切であるが、守る憲法において平和が記載されている項目と条は絶対として守らなければならず、安保法案での中身がどのように改正するのか、防御を絶対視の安保法案なのか、国外へ侵略するか同盟国と常に戦い続けるのか。安保法案改正は時代に必要であるが、中身が大切である。

世界への未来はこの世の神秘の世界は主より与えられ、定められた世界であり、その時代。

神秘の世は無限にあるのだが、神は光と聖と邪と悪等があり、どれに導かれるかがこの世の定めである。

我が師、又吉イエス先生の世界経済共同体主義の世は、未来を照らしている。

そして、神秘の世は、十字に輝き、各宗教を互いに認め、自然崇拜と創造主と共に歩み、この世の未来への導きとなっているのが今の現実である。

その現実を我々が日頃の奉仕（仕事）により、社会人の一役を担っており、それが社会の発展へ繋がっている。

だから日々、祈り行動し、日々をしっかりと主に仕え証し生きることが、人生において御国への幸せの道が神からのプレゼントを最後に与えられる証となるであろう。